

# 卒業・就職関係アンケート(2018年度実施)

調査目的: 卒業時に学生生活、学修成果、就職についての満足度を調査することにより、教育内容の検討や改善のために役立てることを目的とする。

調査実施日: 2019年1月10日～1月21日

調査対象: 栄養学部 2019年3月卒業予定者

調査方法: 卒業ガイダンスでアンケート用紙を配布。記入後、坂戸就職課窓口へ提出。

## 回答率

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
卒業者数(H31.3卒業)	502人	239人	99人	57人	107人
回答者数	487人	229人	97人	57人	104人
回答率	97.0%	95.8%	98.0%	100.0%	97.2%

【参考】2018年度の全卒業生(9月卒業を含む)に対する回答率: 96.8%

## 質問1. あなたの学生生活を総合的にみた満足度について教えてください。

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
満足	65.7%	59.4%	54.6%	87.7%	77.9%
どちらとも言えない	31.0%	36.7%	41.2%	10.5%	20.2%
不満	2.9%	3.5%	4.1%	0.0%	1.9%
無回答	0.4%	0.4%	0.0%	1.8%	0.0%

## 【参考】学生生活の総合的な満足度(2017年度調査)

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
満足	74.4%	79.5%	66.7%	62.5%	77.2%
どちらとも言えない	21.0%	16.2%	28.3%	32.1%	18.8%
不満	3.3%	3.1%	5.1%	3.6%	2.0%
無回答	1.2%	1.3%	0.0%	1.8%	2.0%

## 質問2. 入学してから今までにあなた自身が学修した成果について満足していますか？

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
満足	64.9%	56.8%	60.8%	87.7%	74.0%
どちらとも言えない	32.9%	39.7%	37.1%	12.3%	25.0%
不満	2.3%	3.5%	2.1%	0.0%	1.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## 質問3. 大学での学びは、仕事に活かせると思いますか？

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
思う	85.4%	85.2%	85.6%	98.2%	78.8%
どちらとも言えない	13.1%	12.7%	14.4%	1.8%	19.2%
思わない	1.4%	2.2%	0.0%	0.0%	1.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## 質問4. 就職先決定時の満足度

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
満足	88.8%	88.9%	86.3%	97.1%	87.5%
どちらとも言えない	11.2%	11.1%	13.8%	2.9%	12.5%
不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※調査時に就職先を決定している学生のみ回答

## 【参考】就職先決定時の満足度(2017年度調査)

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
満足	90.2%	92.8%	89.4%	81.8%	87.8%
どちらとも言えない	9.6%	7.2%	10.6%	15.2%	12.2%
不満	0.2%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%

## 【卒業時調査分析結果】

### 質問 1. 学生生活を総合的にみた満足について教えてください。

全体では、「満足」が、昨年度に比べ 8.7 ポイントダウンし 65.7%、「どちらとも言えない」が 10 ポイントアップし 31.0%、「不満」が 0.4 ポイントダウンの 2.9%という結果となったが、学科毎に多少のバラツキが見られた。

実践栄養学科では「満足」が 59.4%と 20.1 ポイントダウンし、「どちらとも言えない」が 36.7%で 20.5 ポイントアップした。「満足」と回答したものは「学業等忙しかったが充実できた」「学業、アルバイト、部活と様々なことに取り組むことができた」という意見が多数あったが、「どちらとも言えない」と回答したものは、「よく学ぶことができたが、大学での拘束時間が長かった」「たくさん勉強したが、大学生らしい生活を送れなかった」等の意見が多数を占め、昨年度に比べ勉強とプライベートを両立させる余裕がなかったと感じた学生が増加したと考えられる。

保健栄養学科栄養科学専攻では「満足」が 54.6%と 12.1 ポイントダウンしたが、「専門的な学びができた」「忙しいが充実していた」の意見が多く、「どちらとも言えない」は 41.2%で 12.9 ポイントアップし「忙しくて、自由な時間がなかった」「長期の休みがほしかった」等の意見が多数を占めており、前述の実践栄養学科と同様の結果となった。保健栄養学科保健養護専攻では、「満足」と回答したものは 87.7%で「勉強は大変だったが充実していた」「友人や先生に恵まれ、多くの学びを得た」という意見が多く 25.2 ポイントのアップ、「どちらとも言えない」は 10.5%で 21.6 ポイントのダウンとなった。

食文化栄養学科は、「楽しい学生生活を送れた」「食に対して多くのことを学べた」等の意見により「満足」と回答したものが 77.9%で 0.7 ポイントアップ、「どちらとも言えない」が 1.4 ポイントアップで昨年度とほぼ同様の結果となった。

### 質問 2. 入学してから今までにあなた自身が学修した成果に満足していますか？

全体では、「満足」が 64.9%で、「どちらとも言えない」が 32.9%、「不満」が 2.3%であったが、学科毎に評価が異なった。

実践栄養学科では「満足」と回答したものが 56.8%、意見としては「基礎から応用まで十分学べた」「管理栄養士としての技術、知識を取得できた」「専門的な内容を、実践的に学べた」との意見があった。一方、「どちらとも言えない」は 39.7%という結果で、「自学自習が少なかった」「学修の機会は十分にあったが活用できなかった」等、もう

少し積極的な学びができたのではという意見が目立った。「不満」と回答したものは多くが「もっと勉強すればよかった」との意見だった。

保健栄養学科栄養科学専攻では「満足」が60.8%で「資格の取得ができた」「目標に向けて専門的な学びができた」等の意見があった。また「どちらとも言えない」は37.1%で「自身の学びが足りていない」「学修が身につけているか分からない」との意見があった。

保健栄養学科保健養護専攻では、「満足」が87.7%で「養護教諭になるための実践的な学びが充実していた」との意見が多数あった。「どちらとも言えない」は12.3%で「自身の学びとして足りていない部分がある」との意見があった。

食文化栄養学科では「満足」が74.0%で「食に対して幅広く学べた」が多数意見だった。「どちらとも言えない」は25.0%で「もう少し学びを深められたかもしれない」との意見が複数あった。

### **質問3. 大学での学びは、仕事に活かせると思いますか？**

全体では、「思う」が85.4%で、「どちらとも言えない」が13.1%、「思わない」が1.4%であった。

学科毎でも、「思う」と回答したのは、実践栄養学科85.2%、保健栄養学科栄養学専攻85.6%、保健栄養学科保健養護専攻98.2%、食文化栄養学科78.8%と高い割合であった。

意見としては、共通して「実践的な学びが多かったから」「専門職として働くために役立つ」「食分野で知識を活かせる」だった。

「どちらとも言えない」は、実践栄養学科12.7%、保健栄養学科栄養学専攻14.4%、保健栄養学科保健養護専攻1.8%、食文化栄養学科19.2%で意見としては「実際に働いてみないとわからない」「食品会社への就職ではないから」「自己学習しないと身につかない」等の意見があった。

「思わない」への意見はなかった。

### **質問4. 就職先決定時の満足度**

全体では、「満足」が88.8%で昨年度と比較すると1.4ポイントダウン、「どちらとも言えない」が11.2%で1.6ポイントアップ、「不満」が0.0%で0.2ポイントアップとなり大きな動きはなかった。

学科毎でも、「満足」と回答したのは、実践栄養学科88.9%、保健栄養学科栄養学専攻86.3%、保健栄養学科保健養護専攻97.1%、食文化栄養学科87.5%と高い割合であった。

「どちらとも言えない」は、実践栄養学科 11.1%、保健栄養学科栄養学専攻 13.8%、保健栄養学科保健養護専攻 2.9%、食文化栄養学科 12.5%であった。

「満足」と回答したものの理由は、「第一希望に就職できた」「希望の職種に就けた」が多数であり、「どちらとも言えない」は「仕事に就いてみないとわからない」「第一希望に就職できなかった」等の理由であった。